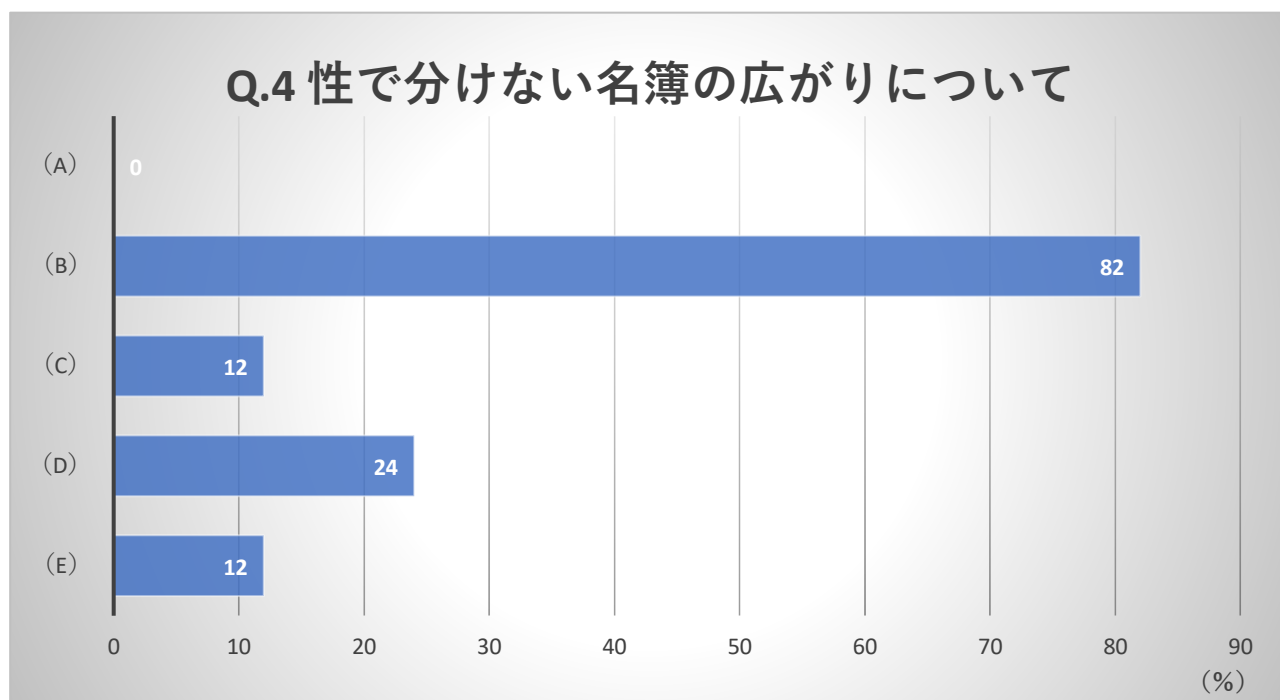


(4)「性で分けない名簿」の広がり、 慣例や校則等の見直しについて

宮崎県では、「性で分けない名簿」の実施率が、
小学校96.1%、中学校90.6%、県立学校100%となっています。
(2020年度の状況)

Q.4 「性で分けない名簿」の実施に伴い、慣例や校則、
制服の見直しが行われましたか？（複数回答可）

- (A) 「性で分けない名簿」を実施していない
- (B) 卒業式などの並び順が男女別ではなくなるなど、
慣例が見直された
- (C) 校則の見直しが行われた
- (D) 制服の見直しが行われた
- (E) 特に変化はない。

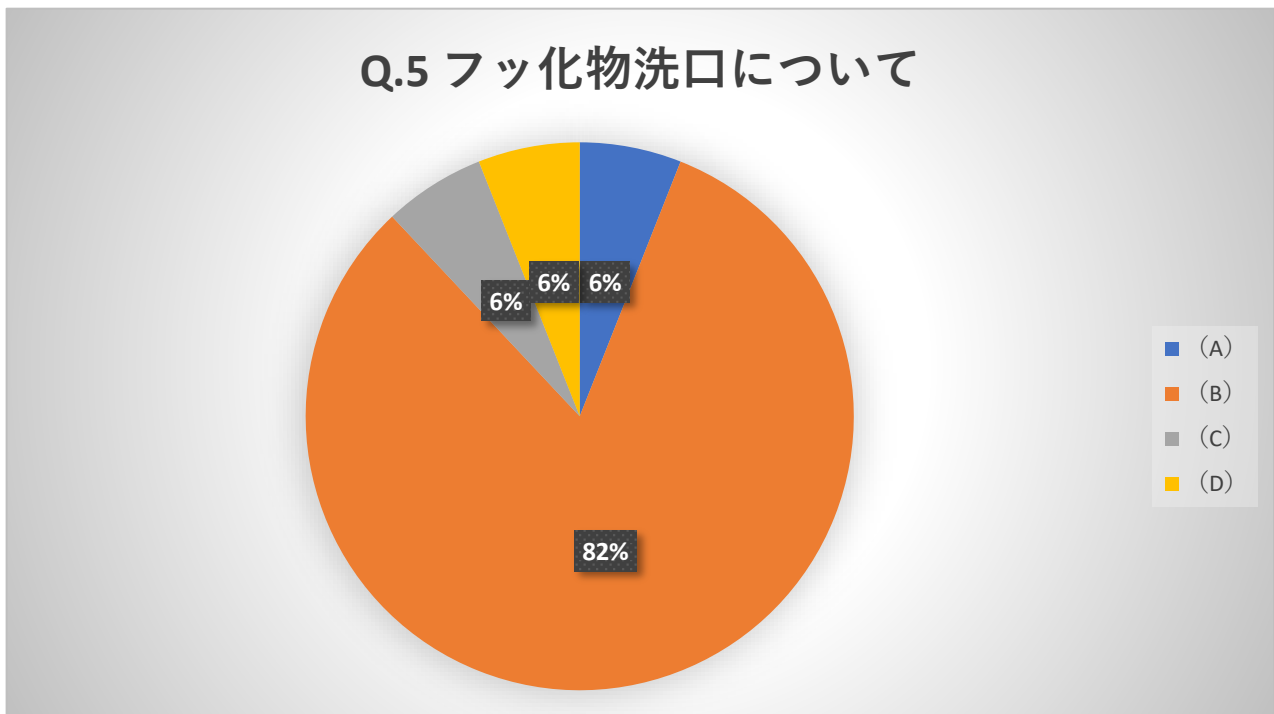


「性で分けない名簿」を導入することがきっかけとなり、
「慣例が見直された」という回答が80%を超えました。

(5) 新型コロナウイルス感染症拡大と

フッ化物洗口について

- (A) フッ化物洗口を廃止した
- (B) フッ化物洗口を中止している
- (C) フッ化物洗口を続けている
- (D) もともとフッ化物洗口をしていない



「フッ化物洗口を中止している」という回答が、80%を超えました。

集団でのフッ化物洗口を実施している学校や導入が検討されている市町村に対して、今後も見直し・中止を要求していきます。集団でのフッ化物洗口をすでに実施している場合、実施しようとしている場合も、集団でのフッ化物洗口に関するリスクをしっかりと説明すること、「フッ化物洗口をしない」という判断をした保護者（児童・生徒）への配慮を十分行うこと、事故を未然に防ぐ対策をしっかりと行うことなど、課題はたくさんあります。

(6) 教員免許更新制度が2022年7月に 廃止(発展的解消)されることについて

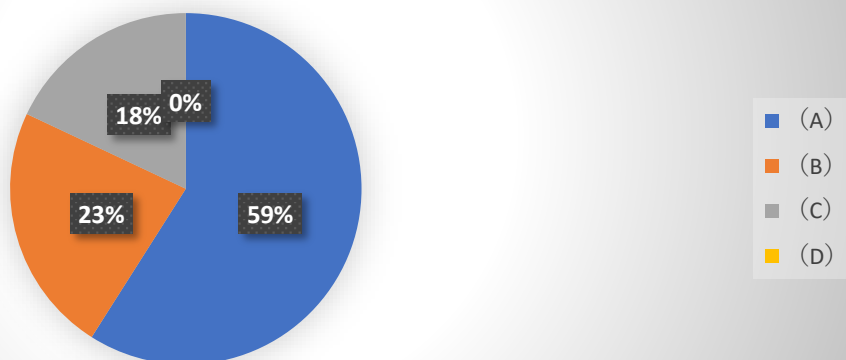
免許更新制度はなくなるものの、中教審の「令和の日本型学校教育」を担う新たな教師の学びの姿の実現に向けて審議まとめ 概要」では、今後、任命権者が、研修履歴の記録管理、そして、研修の受講を奨励することとなっています。

Q.6 概要では、「市町村教育委員会の行う研修や学校における校内研修・授業研究なども含めたような研修の履歴等を含む仕組みにすることが望まれる」とされています。

このことについてどう思われますか。

- (A) 研修受講履歴は必要ない
- (B) 研修受講履歴はあってもいいが、どの研修を選ぶかは、本人の希望を最大限尊重すべきである
- (C) 研修受講履歴はあってもいいが、経験年数を考慮するなど、不公平感のない制度にすべきである
- (D) その他

Q.6 教員免許制度の発展的解消について



どのような「研修」を個々人の「研修履歴」にするのかが、課題となります。